

令和5年度第1回多面的機能支払制度推進委員会 会議結果の要旨

1 令和4年度実施状況について【資料1】

- 外来種の駆除について、広報紙で訴えていくのであれば、岩手県内に広く分布する外来種、効果的に駆除できる見込みのある外来種を継続的に取り上げていく必要がある。外来種の分布の把握や駆除に多面的機能支払制度で取り組むことができることを広めていくことが重要である。(委員)
- 外来種駆除について、広報紙の効果はあったのか。(委員)
 - 広報紙を見て、組織から外来種駆除の方法について問い合わせの電話があったため、効果はあったと考えているが、全体的な反応は現時点で把握していない。(事務局)
- 令和4年度は、広報紙での外来種の紹介は何回行ったのか。(委員)
 - 広報紙は年2回発行しているところであり、令和4年度9月の多面的機能支払制度推進委員会において広報紙への掲載の方針が決まったため、その後発行された広報紙での1回のみ。今年度も継続的に紹介していきたい。(事務局)
- アンケートにおいて継続断念の意向を示していた35組織のうちの8組織が、再び継続の意向を示した理由はこういったものか。(委員)
 - 1つは、近隣の活動組織と統合したこと。その他、活動内容の多さが負担となっていた組織について、農地の維持のために必要最低限となるように活動内容を選択・集中してもらったこと。(事務局)
- 活動を断念した組織のうち、中山間直接支払に移行した組織があるようだが、それは何故か。(委員)
 - 多面的機能支払と中山間直接支払の両方に取り組んでいる組織が、事務の負担を軽減するために、制度と地域の特性を勘案し、中山間直接支払の一本に絞ったためである。(事務局)
- 活動中に発生した、ため池での死亡事故の要因はどういったものか。(委員)
 - 小雨が降っていて滑りやすい状況の中、ため池の転落防止柵を越えて草刈作業をしていたところ、肩掛けの草刈り機ごとため池に転落し、溺死した事故である。(事務局)
 - 事故の対策として、命綱等が考えられるが、安全研修会ではどのような指導をしたのか。(委員)
 - 水難学会の映像により、ため池に一度転落すると這い上がることはできないということを見てもらった。対策としては、作業するため池に綱やネットを設置することや、空のペットボトルを浮きとして腰に垂らしておくことを紹介した。(事務局)

以上により、令和4年度の実施状況について了承を得た。

2 令和5年度の取組方針（案）について

- 基本的な取組方針について、主語を補った方が分かりやすくなると思われる。
「なお」以降の部分については、取組面積の現状維持を大きな目標としながら、取組拡大にも取り組むということであれば、もう少しシンプルな記載内容にした方が良い。
(委員)
 - 内容を修正し、次回の委員会で示すこととする。(事務局)
- 重点取組事項 (1) 継続取組・新規取組の推進について、現状は述べられているが、それを踏まえた課題の記載がないため、修正してはどうか。(委員)
 - ①に現状を、②に現状に対する課題と対策という構成にまとめたい。(事務局)
- 表題には「新規取組」という記載があるが、新規取組についての記載がない。
また、これまでに、県として畑・草地や、県北・沿岸での取組面積を増やしたいという方針を示してきたにも関わらず、それが抜けている。(委員)
 - 県としても土地改良事業を希望している地区で多面的機能支払に取り組んでいない場合は、制度を紹介する等の取組を行っているなど、実際やっていることを加筆したい。(事務局)
 - 取組方針は極めて重要であるため、新規地区の掘り起こしに関する記載も方針として入れ込んでほしい。(委員)
- 市町村や土地改良区に事例を紹介し市町村等から組織へ活動継続の働きかけをしてもらうという記載があるが、事例紹介は文書で行うのか。(委員)
 - 活動を断念した組織が、活動をやめた後、地域に雑草が繁茂し、活動の重要性を再認識したことにより、活動を再開するという事例等をペーパーにして組織に渡したいと考えている。(事務局)
- 事務を実際に誰にやってもらうのか等の踏み込んだ対策を考えてもらいたい。重点取組事項では、「対策を考えていく必要がある」等の記載にして、これから考えてみてはどうか。事例を紹介するのも重要であるが、事務のなり手を発掘して育成するというような具体的な対策を検討してほしい。(委員)
 - 対策について検討したい。(事務局)
- 現場では、写真の撮影・整理や作業日誌の作成が大変という話もあり、活動実績の残し方という点で合理化できる部分もあるかと思われる。(委員)
 - 今年度は、Ⅱ期対策の最終年度となるため、事務の負担を減らすように国に制度の改正を求めるタイミングとして丁度良い。施策評価と併せて、次回の委員会でご意見いただきたい。(事務局)
 - 実際に事務処理に困っている地区に行ってみて、どんな作業をやっているのかを把握して、無駄がないか検討するのもいいのではないか。(委員)
- 地域バランスについても課題として認識しているのであれば、重要取組事項に追記してはどうか。(委員)

- 広報紙の発行月は何月か。(委員)
 - 6月と2月を予定している。(事務局)

以上により令和5年度の実施方針(案)については、今回の意見を反映して資料を修正し、次回委員会で再説明することとした。

3 その他

- 令和5年度第2回多面的機能支払制度推進委員会の予定について、事務局から説明した。【資料3】